

鈴鹿亀山地区
高齢者介護に関する調査結果報告書
〔居宅介護支援事業所調査〕

令和 2 年 4 月
鈴鹿亀山地区広域連合

目次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の方法	1
3 配布・回収数	1
4 報告書の見方(注意事項)	1
II 調査結果	2
貴事業所の状況について	2
介護予防ケアマネジメントについて	9
地域包括ケアについて	10
これからの高齢者介護について	13

I 調査の概要

1 調査の目的

鈴鹿亀山地区広域連合では、令和3年度からの「第8期介護保険事業計画」の策定作業を進めています。この調査は、介護保険事業の円滑な実施と、高齢者の保健福祉サービスを充実させるための基礎資料として活用することを目的に実施したものです。

2 調査の方法

- ①調査対象地域 鈴鹿亀山地区全域
- ②調査対象者 鈴鹿亀山地区広域連合管内居宅介護支援事業所及び介護予防支援事業所
- ③調査期間 令和2年3月(調査基準日は令和2年3月1日)
- ④調査方法 調査票による本人記入方式、郵送配布・郵送回収による郵送調査

3 配布・回収数

有効配布数	回収数	回収率	白紙回答	有効回収数	有効回収率
85	82	96.5%	0	82	96.5%

4 報告書の見方(注意事項)

- ① グラフおよび表中のN数(number of case)は、「無回答」や「不明」を除く回答者数を表しています。
- ② 調査結果(表中)の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出し、小数点以下第1位までを表示しています。したがって、回答者比率の合計は必ずしも100%にならない場合があります。
- ③ 複数回答形式(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問については、その設問の回答者数を基数として比率を算出しています。したがって、すべての回答比率の合計が100%を超えることがあります。
- ④ 選択肢の語句が長い場合、本文や図表中では省略した表現を用いている場合があります。
- ⑤ 参考として代表的な設問に対しクロス集計分析を行っています。その際、回答者数の少ない属性についてのコメントは控えている場合もあります。

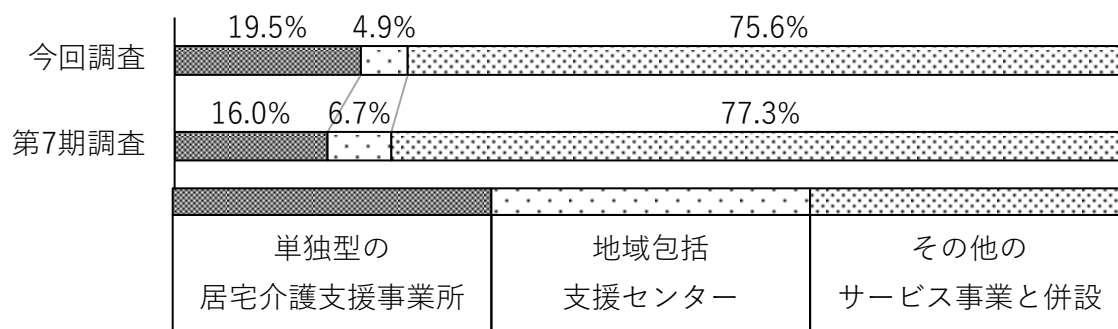
II 調査結果

貴事業所の状況について

問1 貴事業所の形態をお選びください。(1つを選択) 【N=82、75(第7期調査)】

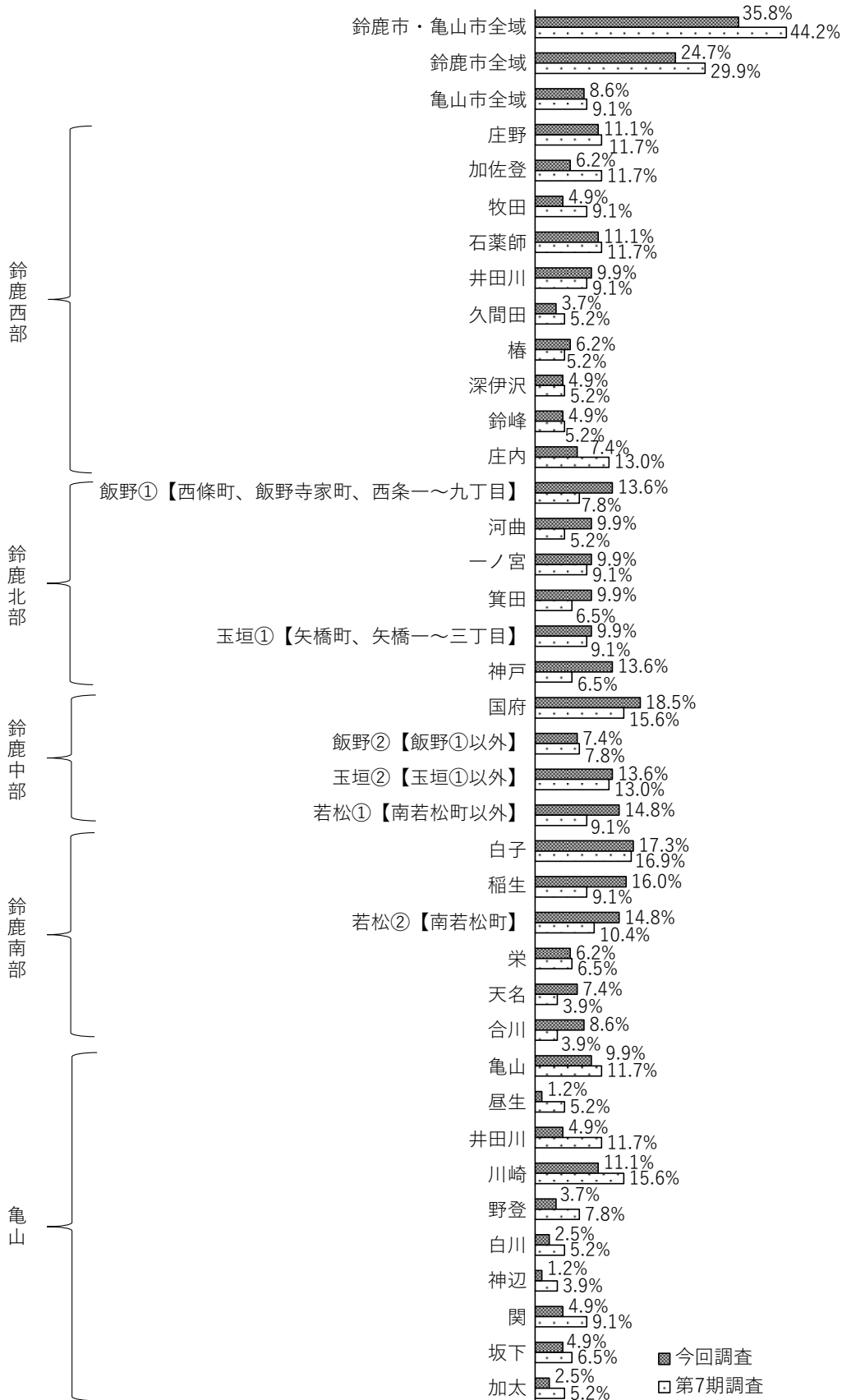
事業所の形態については、「その他のサービス事業と併設」が75.6%と最も高く、「単独型の居宅介護支援事業所」が19.5%、「地域包括支援センター」が4.9%となっています。

第7期調査と比較すると、「単独型の居宅介護支援事業所」が3.5ポイント上昇しています。



問2 貴事業所のサービス提供地域をお選びください。(複数選択可) 【N=81、77(第7期調査)】

サービス提供地域については、「鈴鹿市・亀山市全域」が35.8%と最も高く、次いで「鈴鹿市全域」(24.7%)、「国府」(18.5%)と続いています。

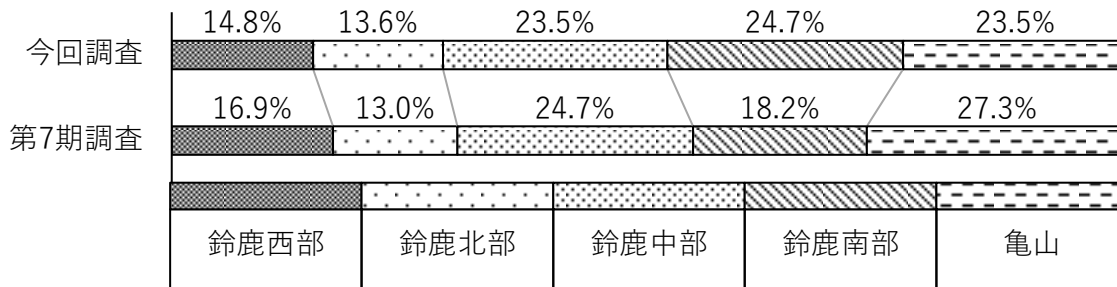


問3 貴事業所の所在地をお選びください。(1つを選択、区域は問2を参考にしてください)

【N=81、77(第7期調査)】

事業所の所在地については、「鈴鹿南部」が24.7%と最も高く、次いで「鈴鹿中部」と「亀山」が同率(23.5%)で続いています。「鈴鹿西部」は14.8%、「鈴鹿北部」は13.6%となっています。

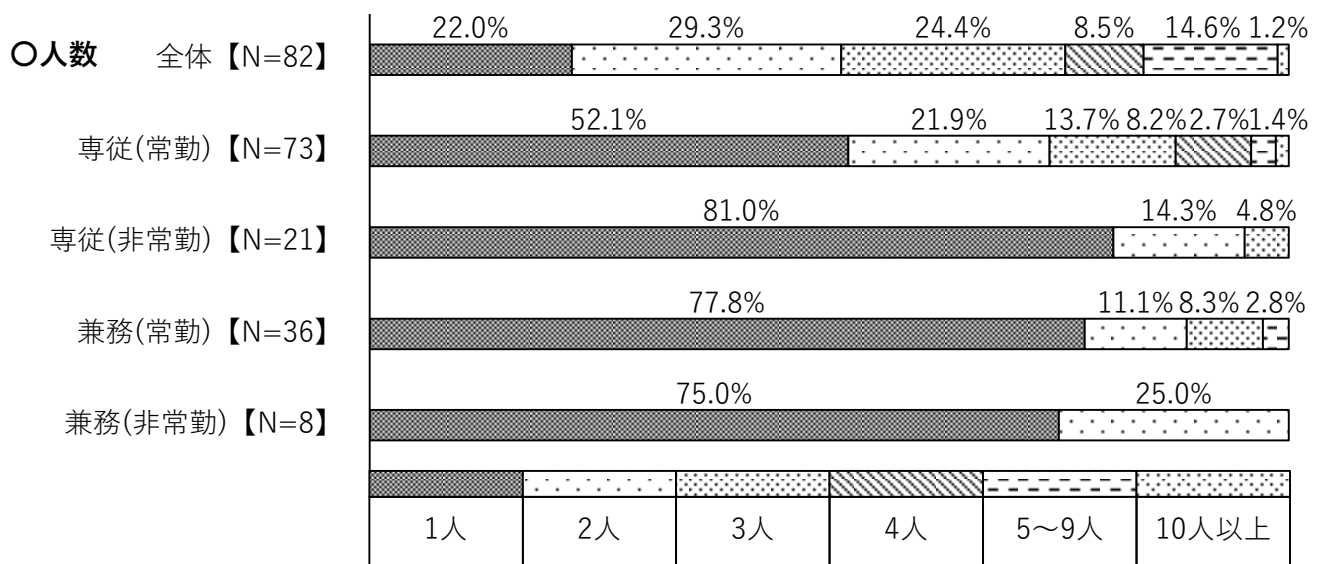
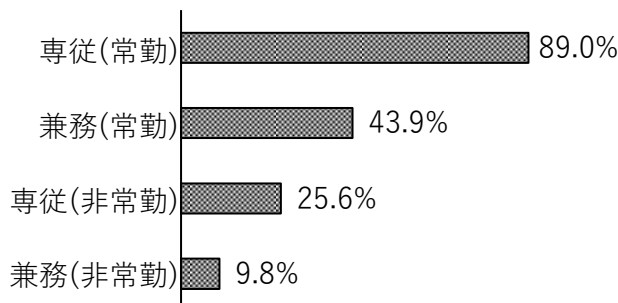
第7期調査と比較すると、「鈴鹿南部」が6.5ポイント上昇する一方、「亀山」が3.8ポイント、「鈴鹿西部」が2.1ポイント、それぞれ低下しています。



問4 貴事業所には、介護支援専門員の方が何名いらっしゃいますか。

事業所に所属する介護支援専門員については、「専従(常勤)」が89.0%と最も高く、次いで「兼務(常勤)」が43.9%、「専従(非常勤)」が25.6%、「兼務(非常勤)」が9.8%と続いています。

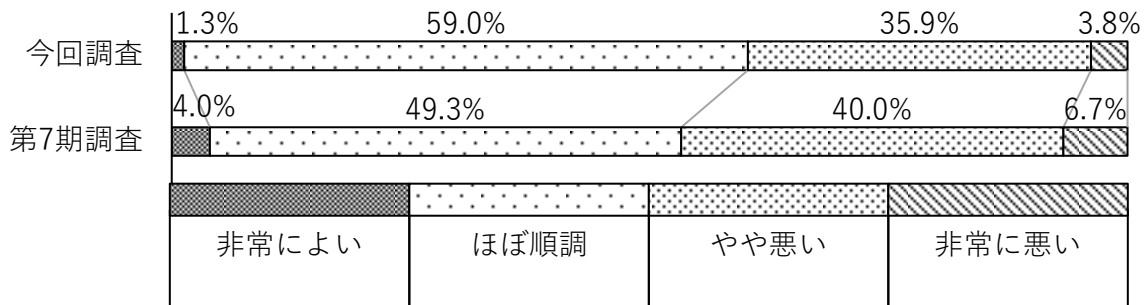
介護支援専門員の人数については、「専従(常勤)」「兼務(常勤)」「専従(非常勤)」「兼務(非常勤)」のいずれについても「1人」が最も高くなっています。



問5 貴事業所の運営(経営)状況はいかがですか。(1つを選択) 【N=78、75(第7期調査)】

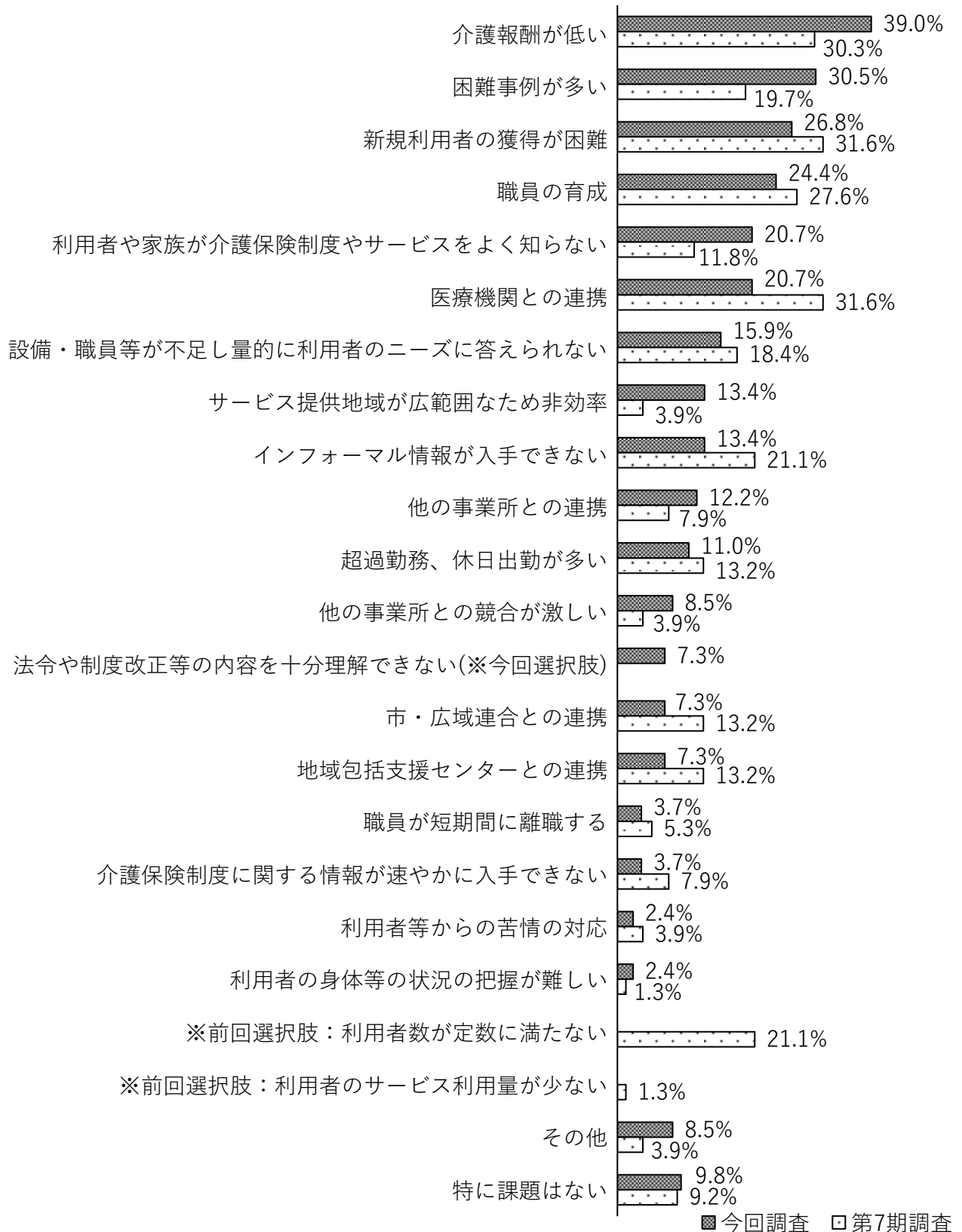
事業所の運営状況については、「ほぼ順調」が59.0%と最も高く、「非常によい」(1.3%)を合わせると『経営状況はよい』は60.3%を占めています。一方、「やや悪い」(35.9%)と「非常に悪い」(3.8%)を合わせた『経営状況は悪い』は39.7%となっています。

第7期調査と比較すると、『経営状況はよい』が7.0ポイント上昇しています。



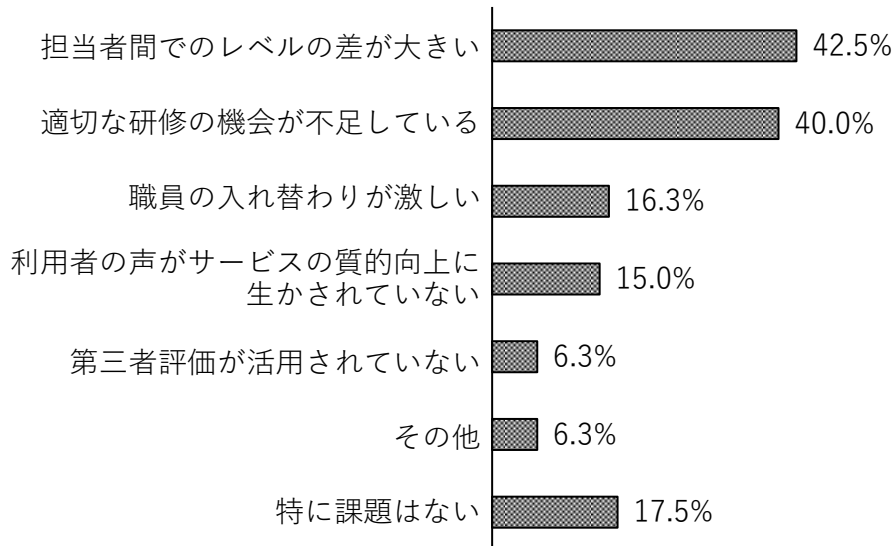
問6 貴事業所が居宅介護支援事業及び介護予防支援事業を運営する上での課題は何ですか。(複数選択可) 【N=82、76(第7期調査)】

事業を運営する上での課題については、「介護報酬が低い」が39.0%と最も高く、次いで「困難事例が多い」(30.5%)、「新規利用者の獲得が困難」(26.8%)と続いています。一方、「特に課題はない」は9.8%となっています。



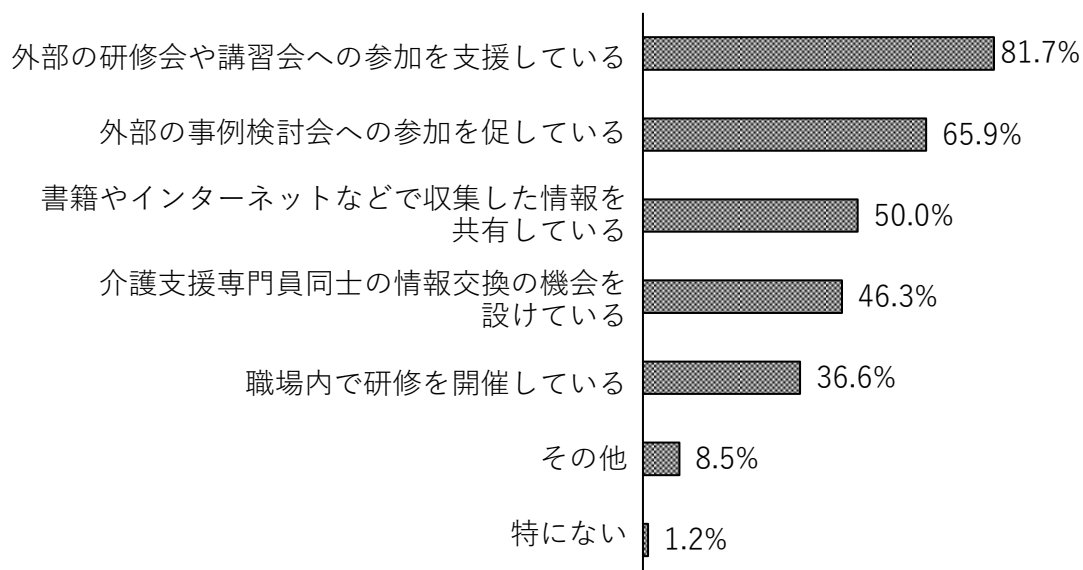
問7 介護知識や介護技術などをレベルアップし、サービスの質的向上を図る上での課題は何だと思いますか。(複数選択可) 【N=80】

サービスの質的向上を図る上での課題については、「担当者間でのレベルの差が大きい」が42.5%と最も高く、次いで「適切な研修の機会が不足している」が40.0%と僅差で続いています。一方、「特に課題はない」は17.5%となっています。



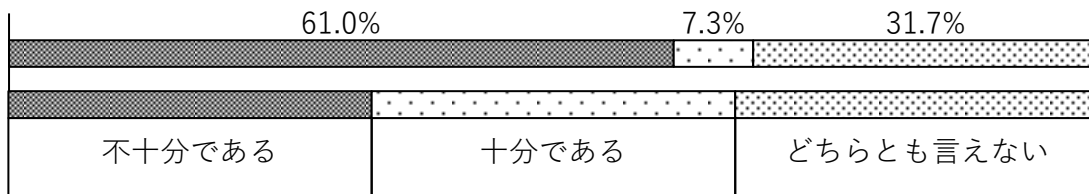
問8 介護支援専門員の資質向上を図るため、貴事業所で行っていることはありますか。(複数選択可) 【N=82】

介護支援専門員の資質向上を図るために実施していることについては、「外部の研修会や講習会への参加を支援している」が81.7%と最も高く、次いで「外部の事例検討会への参加を促している」(65.9%)、「書籍やインターネットなどで収集した情報を共有している」(50.0%)と続いています。



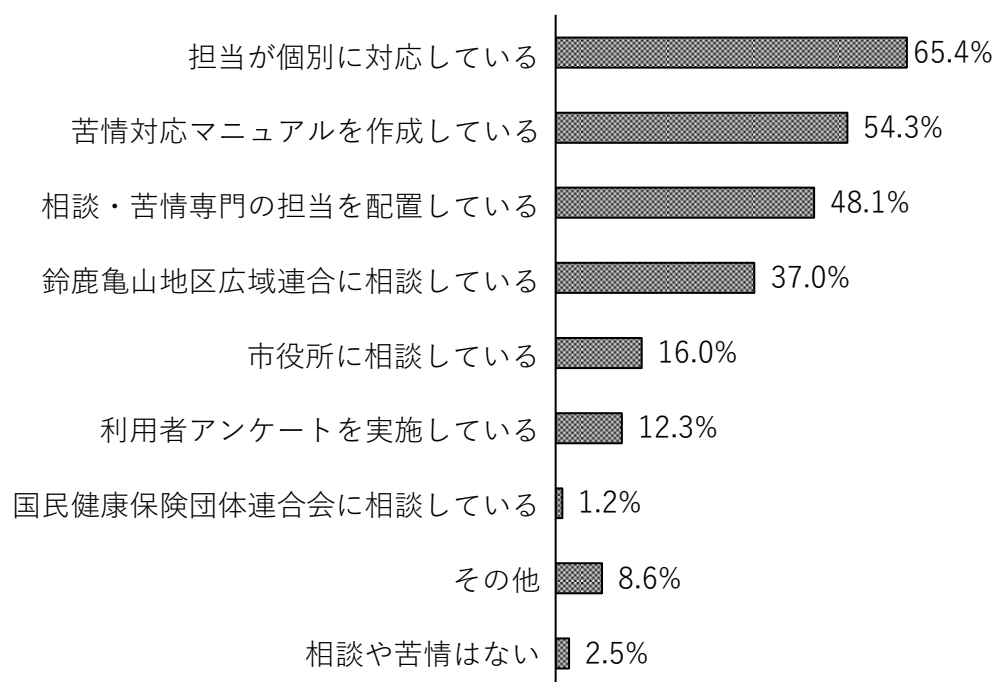
問9 介護支援専門員の処遇改善について、どのようにお考えですか。(1つを選択) 【N=82】

介護支援専門員の処遇改善については、「不十分である」が61.0%を占めています。一方、「十分である」は7.3%となっています。



問10 貴事業所では、利用者や家族からの相談や苦情についてどのように対応していますか。(複数選択可) 【N=81】

利用者や家族からの相談や苦情への対応については、「担当が個別に対応している」が65.4%と最も高く、次いで「苦情対応マニュアルを作成している」(54.3%)、「相談・苦情専門の担当を配置している」(48.1%)と続いています。一方、「相談や苦情はない」は僅か2.5%となっています。

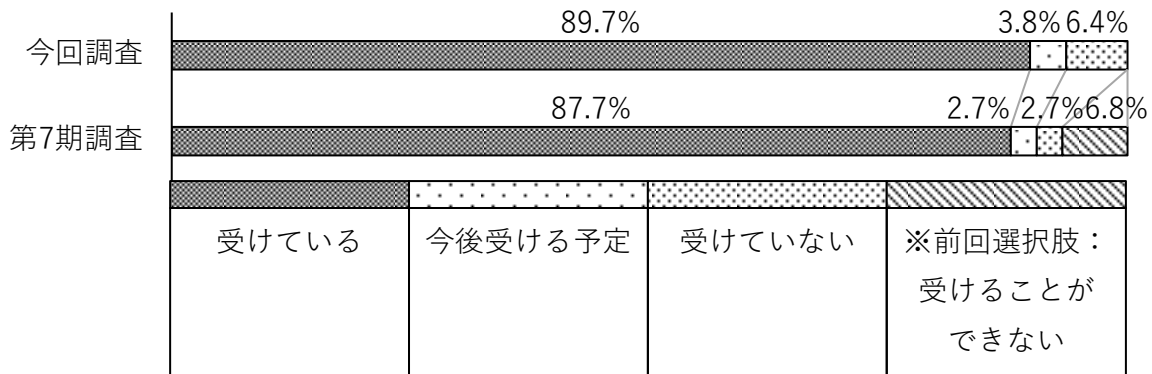


介護予防ケアマネジメントについて

問11 要支援の方のケアプランの作成について、地域包括支援センターの委託を受けていますか。もしくは、受けられますか。(1つを選択)

【N=78、73(第7期調査)】

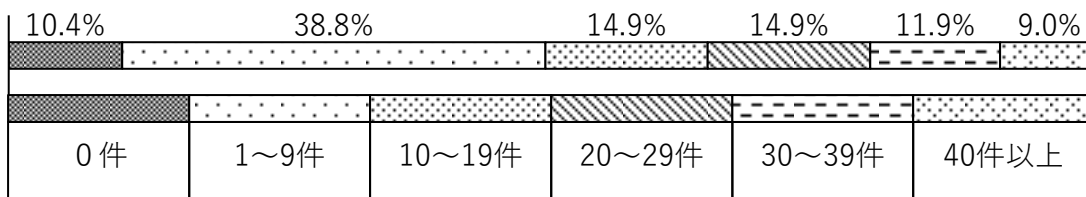
要支援の方のケアプランの作成について、地域包括支援センターの委託を受けているかどうかについては、「受けている」が89.7%を占めています。また、「今後受ける予定」は3.8%となっています。一方、「受けていない」は6.4%となっています。



問11で「1」と回答した事業所にお伺いします。

問11-② 令和2年1月の1か月間で、何件受託されましたか。【N=67】

1か月間の受託件数については、「1～9件」が38.8%と最も高く、次いで「10～19件」と「20～29件」が同率(14.9%)で続いています。



問11で「3」と回答した事業所にお伺いします。

問11-③ その理由は何ですか。

※記述回答につき本報告書(案)では省略

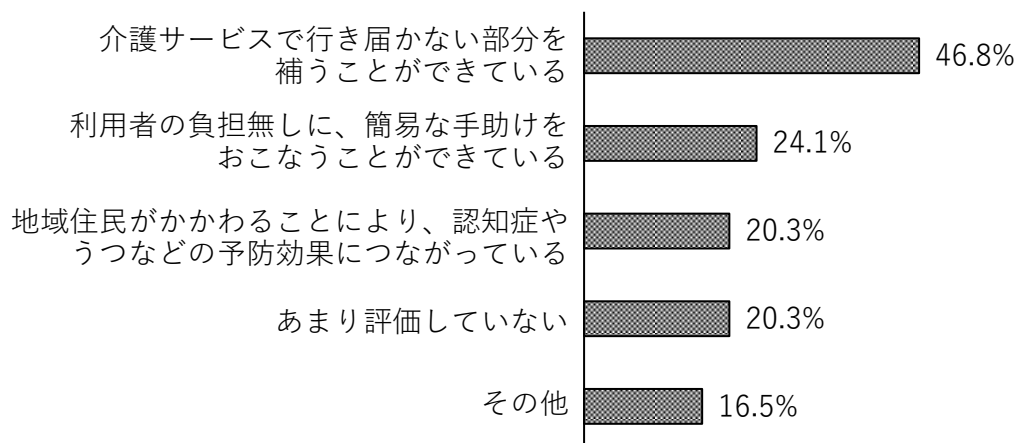
問11-④ どのような条件であれば委託を受けることができますか。

※記述回答につき本報告書(案)では省略

地域包括ケアについて

問12 介護予防・日常生活支援総合事業におけるボランティアやNPOによる介護や生活支援サービスについて、どのように評価されていますか。(複数選択可) 【N=79】

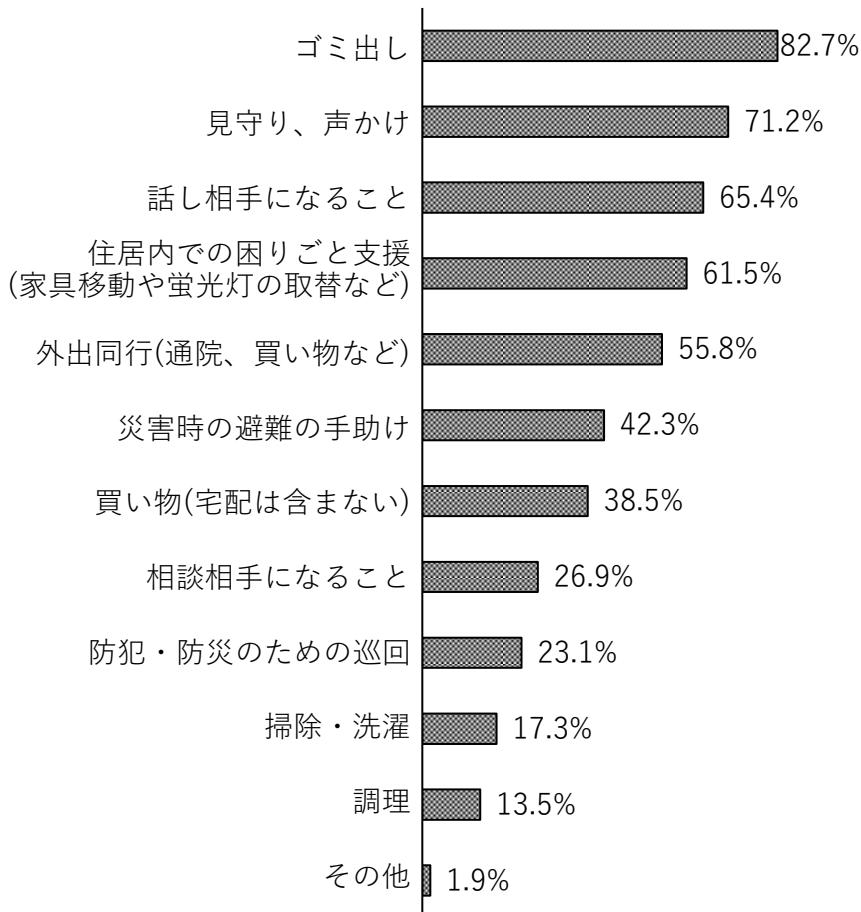
ボランティアやNPOによる介護や生活支援サービスへの評価については、「介護サービスで行き届かない部分を補うことができる」が46.8%と最も高く、次いで「利用者の負担無しに、簡易な手助けをおこなうことができる」が24.1%と続いています。また、「地域住民がかかわることにより、認知症やうつなどの予防効果につながっている」が20.3%と続っていますが、「あまり評価していない」も同率(20.3%)となっています。



問12で「1」～「3」と回答した事業所にお伺いします。

問12-② ボランティアやNPOは、具体的にどのような手助けをすることが有効だと思いますか。(複数選択可) 【N=52】

ボランティアやNPOによる有効な手助けについては、「ゴミ出し」が82.7%と最も高く、次いで「見守り、声かけ」(71.2%)、「話し相手になること」(65.4%)と続いています。



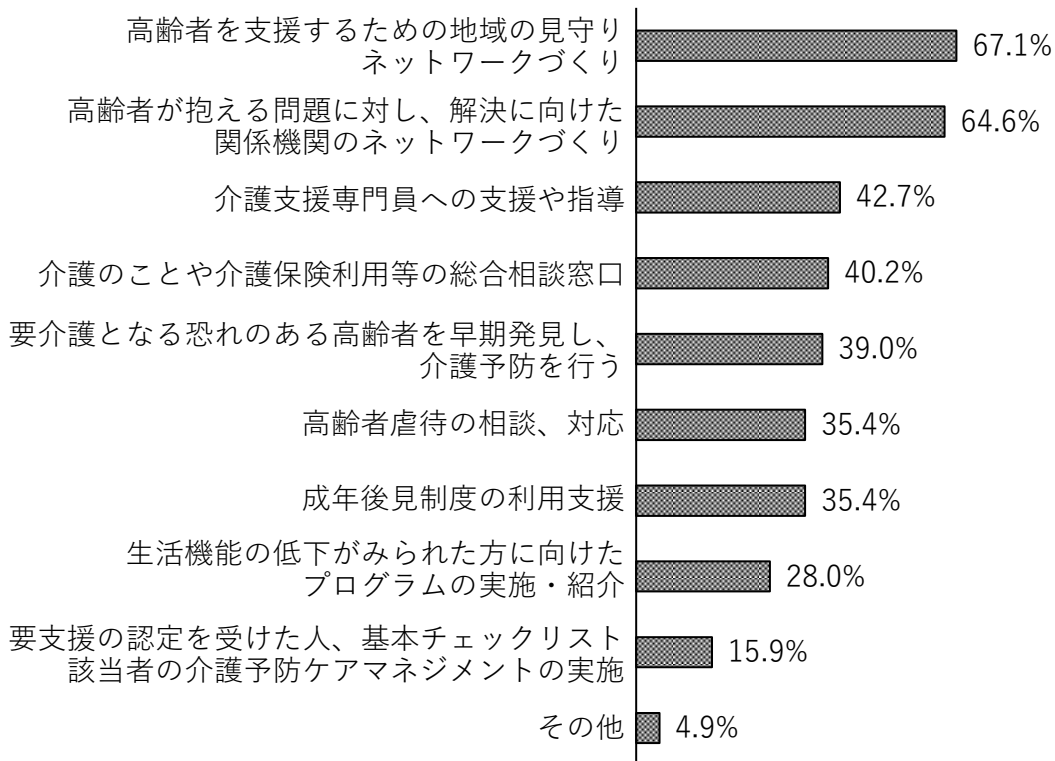
問12で「4」と回答した事業所にお伺いします。

問12-③ その理由は何ですか。

※記述回答につき本報告書(案)では省略

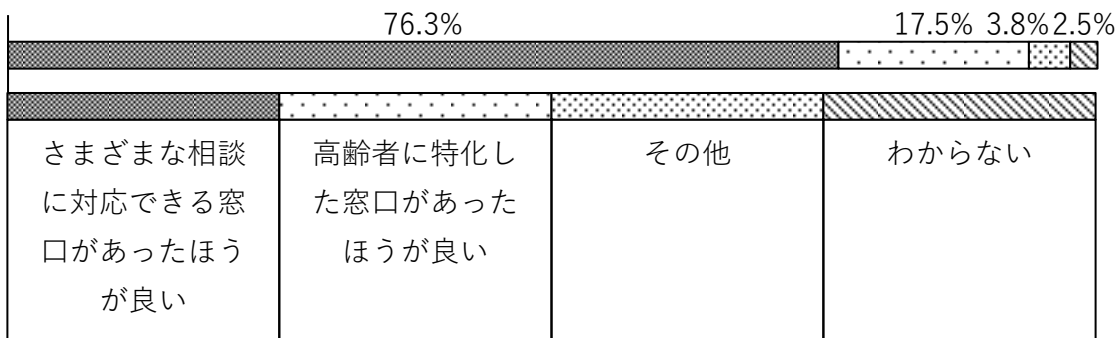
問13 地域包括支援センターの機能のうち、充実を望むものはどれですか。(複数選択可) 【N=82】

地域包括支援センターの機能のうち、充実を望むものについては、「高齢者を支援するための地域の見守りネットワークづくり」が67.1%と最も高く、次いで「高齢者が抱える問題に対し、解決に向けた関係機関のネットワークづくり」が64.6%と僅差で続いています。以下、「介護支援専門員への支援や指導」(42.7%)、「介護のことや介護保険利用等の総合相談窓口」(40.2%)、「要介護となる恐れのある高齢者を早期発見し、介護予防を行う」(39.0%)と続いています。



問14 高齢者だけでなく、障がい、子育て、生活困窮などさまざまな相談に対応する窓口についてどのように思いますか。(1つを選択) 【N=80】

さまざまな相談に対応する窓口については、「さまざまな相談に対応できる窓口があったほうが良い」が76.3%を占めています。「高齢者に特化した窓口があったほうが良い」は17.5%となっています。



これからの高齢者介護について

問15 鈴鹿亀山地区において「地域包括ケアシステム」を深化・推進していくためには、どのような課題を解決する必要があると思いますか。

※記述回答につき本報告書(案)では省略

問16 家族の介護を理由とする離職者を減らすには、どんなことが必要だと思いますか。

※記述回答につき本報告書(案)では省略